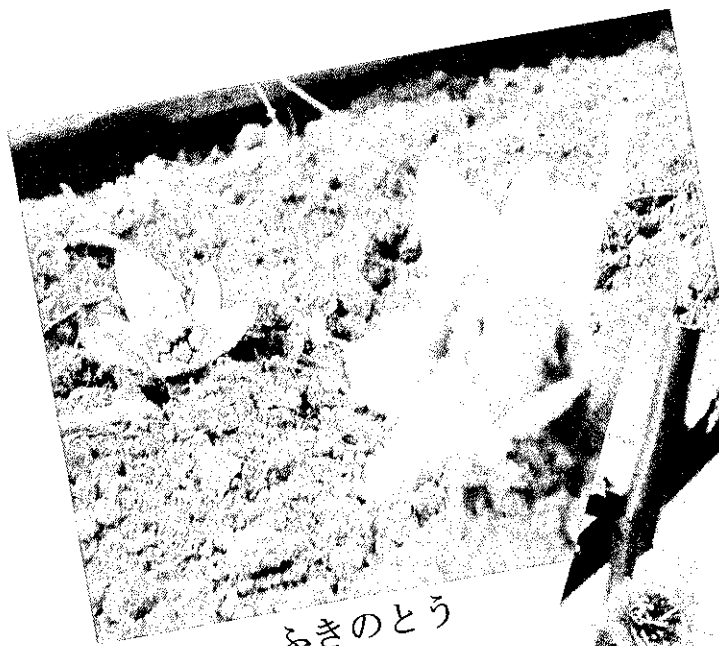




2017.3 VOL.2

編集/社会福祉法人ポポロの会  
〒581-0856 大阪府八尾市水越2-81  
理事長 樋渡 輝子  
TEL 072-940-3321 FAX 072-940-3322  
Mail office@popolo.or.jp  
HP http://www.popolo.or.jp



ふきのとう



里の風に  
春が  
来た!

そと  
外ではふきのとう  
はくばい めぶ  
白梅が芽吹き

はくばい  
白梅

しせつ なか きぎょうないたくじしよ  
施設の中では 企業内託児所

こども  
「バンビ」の子供たちの  
かんせい と か  
歓声が飛び交っている

ねん がつ さと かせ  
2017年3月 「里の風」

1984年3月20日 第三種郵便物承認 毎月1・2・3・4・5・6・7・8の日に発行

ひようし  
P1表紙、

せいかつしえんじぎょうぶ じりつくねんじぎょうぶ じどうはつたつしえんじぎょうぶ きぎょうしゅどうがたほいくじぎょう しゅうろう  
P2生活支援事業部、P3自立訓練事業部、P4児童発達支援事業部、P5企業主導型保育事業、P6就労  
しえんじぎょうぶ ちいきせいかつしえんじぎょうぶ かくじぎょうぶ こんねんどう ほんせい らいねんどう ほうふ こんねんどう  
支援事業部、P7地域生活支援事業部 各事業部の「今年度の反省と来年度の抱負」と「今年度の  
ベストショット」、

はなみずきさまらいほう へんしゅうこうき  
P8花水木様来訪・編集後記

### 【生活支援事業部】

## 『ちよつとええやる展』 生活介護事業 里の風

2月24日から26日の三日間で、第十二回「ちよつとええやる展」を開催致しました。

沢山の方々に来て頂きありがとうございました。ご来場して頂いた方々から、

「**空気が変わったね。**」

と言う言葉をたくさん頂きました。



例年の「ちよつとええやる展」では、書道の作品が多かったのですが、今年度は絵画や創作活動を中心に構成したので、例年とは少し違う風貌の作品展となりました。

今年度より、芸術担当の職員が加入した事もあり、メンバーの方々にとっては

とても良い刺激となり、創作に対する視野が広がったように感じました。

活動を進めていく中で、沢山の面白い発見があり、新たな発想へと繋がり今回の作品が生まれました。

また、次年度の開催に向けて、すでに動き出ししており、メンバーの方々と職員とで様々な表現方法を共に模索しながら、より良い「ちよつとええやる」を目指して、日々創作活動に励んでいます。



### 『今年度の反省と来年度の抱負』

「ひゅーまんフェスタについて」

今年度のひゅーまんフェスタは、演劇の指導に長年携わって頂いていた講師の小笠原町子先生がお亡くなりになられた事もあり当日までに万全のモノを用意できないと判断した為、参加を見送る事

となりました。

次年度には、昨年の反省点を踏まえた上で、再度演劇「劇団どろつぷ」として再び舞台に立つために団員メンバー、職員一同意気込んでおります。

また、演劇以外にも企画をしており、次年度のひゅーまんフェスタに向けて、準備を整えている最中です。

### 『今年度のベストショット!』



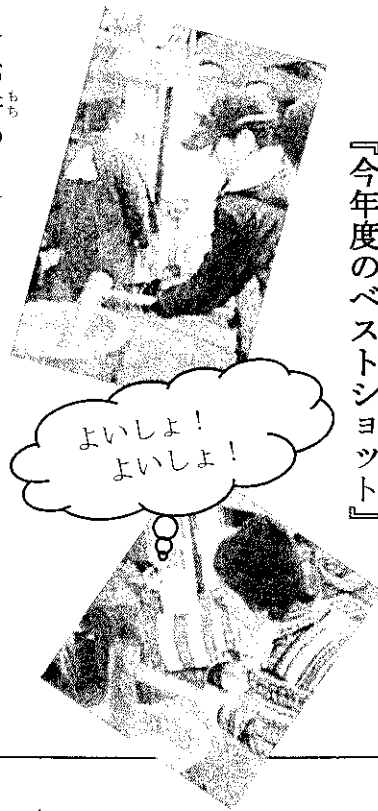
「里の風」では、利用者さんが車椅子やベッドへ移乗する際、リラクセスした状態で移乗していただけるように「介護理フト」を導入しています。そんな介助中に撮れた笑顔な一枚です。

### 【就労支援事業部】

自立訓練事業 まなび舎ぽろ

まなび舎では、いろいろな活動体験を積む度に写真を撮っています。今回は下半期の「できた！ やった☆」写真を選びました。

### 『今年度のベストショット』



#### ★お餅つき★

1月に訪れた布施十日戎の餅つき体験の写真です。杵の持ち方から周囲に教えて頂き、餅を手でこねる人の動きと、周りの人の「よいしょ！」の掛け声に合わせて、力いっばい杵を振り下ろして餅をつきました。

つきたての餅を食べることは出来ませんでした。が、戎様「今年も美味しい野菜がたくさん売れますように！」とお参りをして、福娘達と写真を撮りました。そして「商売繁盛で笹もって来い♪年の初めのえべっさん♪」と歌いながら帰り、楽しい思い出となりました。

#### 綱引き



#### 笑まころがし



#### 体操



#### ★作業所連絡会の運動会★

まなび舎メンバー全員で参加した運動会の写真です。大勢の人の中で不安を感じるところもあつたと思いますが、体操、大玉ころがし、リレー、綱引きと楽しく競技に参加することができました。中でも「綱引き」は、やり方やルールが解り難かったようですが、「オーエス！オーエス！」とチームの掛け声で引つ張ることで、徐々に力が入れ方などが解り、見事に優勝することができました☆

達成感でいっぱいになりました。

### 『今年度の反省と 来年度の抱負』

2016年から、まなび舎に新メンバーを迎えて新たな活動内容や作業などを考えながら進んできました。しかし、日々を精一杯に過ごすことに集中するあまり、課外学習やレクリエーション活動について、時間の余裕を持って計画的に進めることが出来なかつたように思います。

取り組みが軌道に乗り、落ち着いて活動が出来ているメンバーも「まなび舎2年生」になられます。1年目で見出したそれぞれの持つ力・身につけた力を発揮できるように、計画的に活動の内容を考えて、皆で過ごす楽しい思い出をたくさん作り「まなび舎で過ごして楽しかった。参加して良かった。」と思つて頂けるように進めて行きたいと思ひます。

# 【児童発達支援事業部】

## 放課後等児童デイサービス

### どれみ・かのん・タクト

## 『今年度の反省と来年度の抱負』

今年度、「どれみ」「かのん」「タクト」では、いちご狩り、プール、いもほり、収穫祭、クリスマス会、季節ごとに様々な行事を行いました。楽しそうな子ども達の笑顔がたくさん見ることができ、職員としても、とても幸せな時間を過ごすことができました。また、これらの行事以外にも、様々なイベントを企画していただけると思われまます。「どれみ」では、夏休みにキッズプラザに行きましたが、そのようなイベントを「どれみ」だけでなく、「かのん」「タクト」でも行っていただけらと思っております。来年度は、そのような行事を増やしていけたらと思っております。

## 『今年度のベストショット』

子ども達と職員でイス取りゲームをしました！いつもは、職員と子どもと、一対一で遊んでいることも多いのですが、お友達、職員が複数参加し、みんな笑顔いっぱい遊ぶことができました！



「ルールのある遊びを複数人で楽しく遊ぶ」良い機会となりました☆

## 【自閉スペクトラム症の子どものころから だの成長を考えるシンポジウム】

3月4日にプリズムホールにて「自閉スペクトラム症の子どものころからだの成長を考えるシンポジウム」の成長を前向きに捉えるために、が開催されました。



千住真理子先生

「ほぼろスクエア」から千住真理子先生を講師にお招きし、性教育の重要性についてお話をして頂きました。性教育をする上で大切にしたいこととして、自己肯定感を育てること、性についてごまかさず、丁寧に伝えていくことが大切だとお話しされました。また、「ほぼろスクエア」で行われている性教育の紹介もされており、沐浴体験や布で作られた産道を通る体験など、様々なことを体験することができ、子ども達も喜んで参加しているとお話しされました。また、当法人職員が児童の事例発表を行い、自慰行為がある児童や、それに対す



る職員の対応方法を発表しました。

事例発表後の千住先生と当法人の重野総合施設長のパネルディスカッションでは、保護者が子どもの「性」を否定すると、自分自身を認められなくなってしまうため、子どもの性的欲求を否定せず「誰にでもあること」と認め、していくことが大切であり、自慰行為自体が問題なのではなく、プライベートゾーンを教えるように、適切な場所で行えるように伝えていくことが大切であるとお話しされました。また、パネルディスカッション後の質疑応答では、参加者の方から様々な質問があり、皆様の性教育に対する関心の高さがうかがえました。

今回のシンポジウムでは、本当にたくさんの方々に来て頂きました。性教育の重要性を再確認できたシンポジウムだったと思います。今後とも当法人でこのようなシンポジウムを続けていき、理解を深めていけたらと思います。

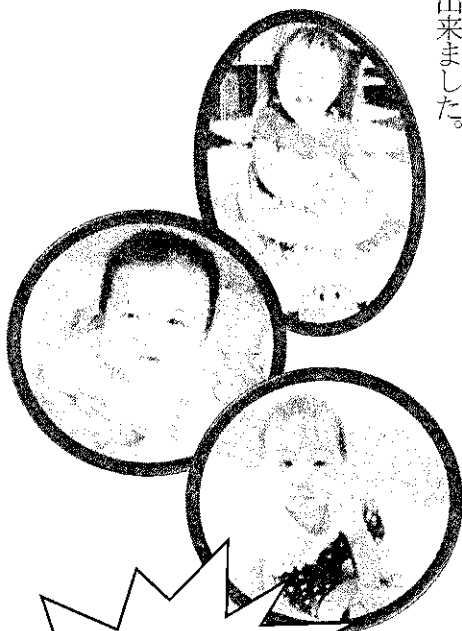


## 【企業主導型保育事業】

### 『今年度の反省と来年度の抱負』

託児所 バンビ

今年度4月から準備を始めた企業内託児所「バンビ」は、待機児童問題、育児をしながら働きたいという気持ちを持つ方をサポートしたいという思いからスタートしました。最初の頃は、職員も戸惑うことが多く、子ども達も初めての環境でお母さんと離れて泣く事も多かったですが、日々過ごしていく中で、笑顔も増え、今ではお母さんと離れる時に、笑顔で「バイバイ」が出来るようになりました。現在は、みんなで体操やダンス、お絵書き、施設内のお散歩等をして笑顔で元気に過ごしています。職員も、子ども達と過ごす中で、たくさんのお話を学び多くの成長を見ることが出来ました。



この2月から「企業主導型保育事業」に変わり、外部で働く方の受け入れも始まりました。保育士3名と子育て支援員を配置して、来年度は子ども達も職員も人数が増えて、新たなスタートとなります。今までは、手探りでの活動だったのでこれからは、季節の行事ごとに力を入れていき安心して子どもを預けて仕事出来る託児所にパワーアップし、育児をしながら働く保護者の方をサポートしていきたいと思えます。

### 『今年度のベストショット』

『お昼ご飯』

当初は、職員にご飯食べさせてもらっていましたが、今では全員が自分で食べる様になりました！

「おいしい」とよく言ってくれています☆



こんなに大きくなりました！！

おいしいー!!!

## お知らせ

### 発達障がいに関する学習会

どなたでも自由に参加できます。

日時 平成29年 4月 20日(木) 19時～  
 平成29年 5月 18日(木) 19時～  
 事例予定

場所 八尾プリズムホール4階研修室

費用 参加費無料・資料代500円

主催 発達障がいの会・八尾

社会福祉法人ポポロの会

### 『お問い合わせ』

ポポロの会 里の風

Tel 072-940

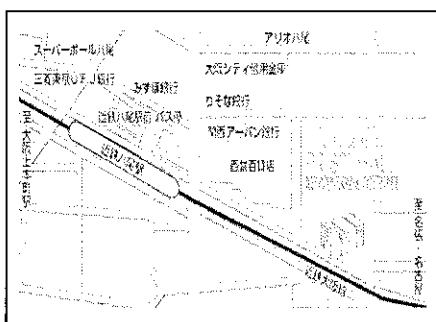
3321

Fax 072-940

3322

※申し込み不要

直接会場へ



# 【就労支援事業部】

## 就労継続支援B型事業 ラポーロ

### もくもくファーム♪

今年度、最後の集団課外活動は、三重県にある「もくもく手づくりファーム」に日帰り旅行に行きました。バイキングでハムやウインナー、ピザ、パン、サラダなどいろいろな料理を食べる事が出来ました。どれもとてもおいしくお腹いっぱいになりました。

園内では、ブタが散歩していたり、ヒツジなどいろいろな動物がいました。竹馬や縄跳びができるコーナーもあり、みんな楽しんでみました。

ソフトクリームを食べたり、お土産も買ったりして、みんなで楽しい時間を過ごす事が出来ました。

# 今年度のベストショット



初めての竹馬にドキドキ♪  
ふたりのいきもピッタリです♪



ハム・ウインナー・パン・パスタ!!  
たくさん食べました～♪



## 『今年度の反省と来年度の抱負』

4月より新しい利用者の方を迎えますが、まだ定員を満たすまでには至っておりません。その理由の一つに

「就労支援事業所による送迎サービス」があります。

近年、一般企業による就労継続支援事業所の開設が多く見られ、利用者獲得の為に送迎サービスを謳っている広告

等をよく見かけます。その為、送迎を必要としている利用者様の多くが他事業所を利用されるという傾向があります。

事業所としての魅力はあっても、送迎を必要とされている利用者のニーズに答えなければ一緒に活動する仲間を増やす事はできないと考えております。このことを踏まえて、当事業所でも来年度は送迎サービスを必要とされている利用者様のニーズに答えるために送迎

サービスを開始し、ラポーロをもっと魅力のある事業所にしていきたいと思っております。

今年度の集団課外活動では、ホームパーティー、カラ

オケ、ボウリング大会、忘年会などいろいろな課外活動を行いました。今までの課外活動は職員が中心となり、

企画や提案を行っていました。来年度からはラポーロの自治会「ソーラーレ」を発足し、メンバーさんが中心とな

って、活動していきたく思っています。

### 【地域生活支援事業部】

共同生活援助事業  
Green House

余暇も楽しく

レクリエーションについて

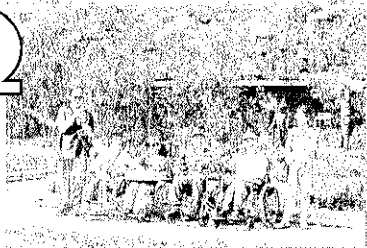
平成28年度の個別のレクリエーションでは、7月に「関西国際空港」、10月に「うめきたガーデン」、12月に「あべのハルカス」へ行きました。来年度は、さらに多くの利用者様に参加していただけるよう、回数を増やし、また世話人の方々も参加できるようなイベントやレクリエーションの企画を考えています。

今年度の  
ベストショット!



7月

10月



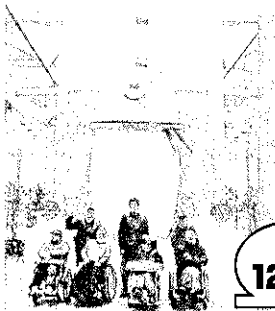
### 『今年度の反省と来年度の抱負』

ケアの充実を目指して

今年度は「寝具リース」や「お掃除担当の職員」を導入し、住環境の改善に力を入れました。来年は健康管理にスポットを当て、身体面のケアの充実を目指していこうと考えています。

そのためにも、利用されている方のちょっとした変化にも気づけるよう、コミュニケーションを大切にし、また、情報共有のためのミーティングや研修を増やして、スキルアップと支援の充実を図ります。利用者の方が、仕事も余暇も充実して暮らせるように一緒に頑張ります。

今年度はこれだけの方が  
参加してくださり、皆さんの  
笑顔に職員も嬉しい  
ベストショットです



12月

来年もお楽しみに!

### 新グループホーム

建設に向けて

共同生活援助事業は、新しい消防法に対応したGH創設に向けて動いている真最中です。来年度はいよいよ建築！建物を造りはじめます。

平成30年4月には、GHを利用されている方の生活環境が大きく変わります。期待で胸がいっぱいの方もいれば、不安でいっぱいの方もいらっしゃると思います。GH職員は、利用者の皆様と一緒に新しい住居でどのような生活をして行きたいか、できるかぎりの希望を聴かせていただき、備品や人員を整え、支援方法を一緒に考えて行く所存です。

フォトクラブ

「花水木」様来訪

チャリティー写真展の収益金を  
ご寄附頂く

ご寄附頂く

フォトクラブ花水木様は、2003年の第一回写真展を皮切りに社会貢献活動としてチャリティーで得られた収益金をこれまで、当法人及び三田学園(芦屋市)、堺市社会福祉協議会、東日本大震災への義援金などとして贈呈されておられます。また、当法



人の運営する「里の風」生活介護事業部の文化活動(書道・絵画活動)から生まれた利用者さんの作品を発表する「場」としても、ご提供いただいております。利用者さんの制作意欲へと繋がっているところです。

2016年12月25日、年の瀬の何かと慌ただしい中、フォトクラブ花水木会長様並びに事務局長様が「里の風」に足を運んでいただき、この年開催された写真展での収益金を

ご寄附いただいた次第です。  
通信紙面を割きまして御礼申し上げますとともに、通信「愛読」いただいております皆様にご報告致します。

編集後記

日ごとに暖かくなり、街行く人たちの服装もすっかり春めいてきました。

この時期は、米年度に向けていろいろと準備をしている方も多いのではないのでしょうか。特に、新しい学校や職場に行く方にとっては、これから様々なことを選んで、実行して行く大切な時期だと思います。どの服を着ていくか。誰と会話をするか。どうやって挨拶をするか……、簡単なようでいて、新しい場所へ飛び込む人には、なかなか難しい問題です。人によっては当たり前すぎて、些末に扱われがちなことなので、両親や友人、学校の先生には相談し辛いということもあるように思います。

わたしも、新しい職場に入社するときは、本やインターネットで何度も調べて、ああでもないこうでもないという入社前日まで悩んでいました。「どんなことでも相談できる人が身近にいたらなあ」と、そのときよく考えていたことを思い出します。  
今、支援者という立場になり、より一層、そうした身近な相談役の重要性がわかってきました。わたしにできることはまだまだ限られています。抱えている方が、少しでも安心できるような相談役として、来年度もお役にたてるよう頑張ります。

〒581-0856 大阪府八尾市水越2-8-1 TEL 072-940-3321 FAX 072-940-3322 Mail: office@popolo.or.jp



社会福祉法人ポポロの会  
〒581-0856 大阪府八尾市水越2-8-1  
TEL 072-940-3321 FAX 072-940-3322 Mail: office@popolo.or.jp

<http://www.popolo.or.jp>

ポポロの会

検索